



士幌町

令和8年発行

〒080-1292 北海道河東郡士幌町字士幌225番地
TEL. 01564-5-2211 URL.<https://www.shihoro.jp/>

士 幌 町 町 勢 要 覧

Shihoro Town Handbook



「チームしほろ 『農村ユートピア』2世紀へ、 真に豊かな農村しほろを目指して」

士幌町は、1898（明治31）年に岐阜県美濃地方からの移民団により開拓の鉤が下ろされ、1921（大正10）年には当時の音更村から分村して、2021（令和3）年には開町100周年という大きな節目を迎えました。

“農村ユートピア”建設という大きな夢を抱きつつ農業を基幹とする「まちづくり」を町内関係機関・団体との協調のもと展開し、農業生産額は500億円を超え、経済性の高い全国有数の「農業のまち」と称されるようになりました。

「まちづくり」は、町民と行政の協働を基本姿勢にこれまで7期にわたる総合計画を策定し、令和8年度からは、『誰もが関わりたくなる農村ユートピアしほろ』をテーマに各種施策を進めています。

今、地方自治を取り巻く環境は、超少子・高齢社会に加え人口減少問題は依然として大きな課題となっており、グローバル化や価値観の多様化が進む中、士幌町が多くの人にも選ばれるよう、関係人口の創出、移住促進などの取り組みを展開し、町民はもちろん、町外の人も士幌のまちづくりに関心を寄せ、関わりを深めてもらうことで、住みやすさ、過ごしやすさをより感じることができる「農村ユートピア」を目指しています。

今後とも、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げご挨拶いたします。



士幌町長
高木 康弘

目次

福祉 … 03

子育て … 04

教育 … 05

生活 … 06

農業 … 07

商工業 … 08

観光 … 09

歴史 … 10



福祉

共に支え合い、
生き生きと暮らせるまち

町民一人ひとりがお互いに支え合い、健康で
生きがいを持ち、安心して暮らすことのできる
まち。地域共生社会の実現には、制度の隙間の
課題、社会的孤立や地域の「つながり」の希薄
化などの諸課題に対応した「公的支援」と「地
域づくり」の仕組みが必要です。



士幌町国民健康保険病院

総合福祉センター、特別養護老人ホーム、ケアハウスなど一連の福祉施設と一体となり、福祉村の中心的な存在。高齢社会に対応した町民の癒しの場として、また、療養環境の向上に配慮した最新の設備と機器を整備し、ニーズに対応した信頼される医療サービスを提供しています。
[診療科] 内科・外科・整形外科・眼科・泌尿器科・小児科



士幌町立特別養護老人ホーム

常時介護を必要とし、自宅での生活が困難な高齢者に対し、生活全般にわたる介護を提供する町立の施設です。入浴、排泄、食事といった日常生活の介護に加え、機能訓練、健康管理上の世話をしています。また、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、自宅にこもりぎりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持を図るとともに、家族の介護負担軽減を目的としてショートステイ事業も実施しています。



ケアハウスしほろ 愛風苑

社会福祉法人士幌愛風会が運営する施設です。入居は60歳以上の自立した方で、食事の提供、生活相談等のサポートが受けられ、入居後に支援が必要になった場合には、介護保険サービスを利用しながら施設での生活を継続することができます。また、士幌愛風会では在宅介護サービスを提供する体制を整えており、ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険事業を運営しています。



グループホーム「ひまわり」

グループホーム ひまわり／笑顔

有限会社ひまわりが運営するグループホームは、認知症であっても障がいがあっても普通の暮らしができるように、職員が食事・洗濯・掃除等を支援しながら、他の入居者と一緒に共同生活をしていく施設。認知症専門の「ひまわり」と、認知症がある人と障がい者の両方が入居する「笑顔」の2つがあります。



士幌町総合福祉センター

保健・福祉の総合相談窓口として地域福祉、介護支援、健康づくりに関する支援業務を行っています。センター内には地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、こども家庭センター、社会福祉協議会があり、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを支えるサービスの拠点として広く活用されています。



士幌町障がい者総合施設

NPO法人士幌障がい者支援の会が運営する施設です。身体や知的、あるいは精神などの障がいのある人がその有する能力や適性に応じて、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援していくために必要な事業を行っています。支援を要する児童を一時的に預かる「日中一時支援事業」も実施しています。



見守り付高齢者等向け住宅 公営住宅「若葉団地」

高齢者・障がい者向けに生活相談や安否確認等の見守りサービスを付与した公営住宅です。住棟を渡り廊下でつなげることにより、入居者同士の交流を図り、除雪作業等の負担も軽減し、高齢者・障がい者が暮らしやすい住宅となっています。



グループホーム「笑顔」



士幌町認定こども園「なかよし」



中士幌保育園

こども園・保育園

士幌町内には認定こども園(令和8年度移転新築)と中士幌保育園があり、どちらの園も年齢を問わず全ての園児に対する保育料が令和8年度から無料となっています。認定こども園は、木の温もり溢れる広々とした園内やたくさんの遊具がある園庭で子ども達がのびのびと生活することができます。また、子育ての不安に対応した相談活動や親子の集いの場の提供などを行う「こそだてルーム」や感染症等による回復期の幼児を預かる「病後児保育室」といった町内の子育ての拠点施設としての機能も合わせ持っています。



こども発達相談センター

こども発達相談センターは、こどもの発達に関する相談や、療育・支援を行っています。現在幼児から中学生までが利用しています。



母子保健事業

母子手帳の交付から各種相談、教室、乳幼児健診を実施しています。



マミールーム

妊娠・出産・子育てに関する相談支援を行っています。授乳スペース・おむつ替え台、こどもトイレ、計測スペースを設置しています。休息や授乳、育児相談など気軽にご利用ください。



子育て支援

中士幌保育園では、親子あそびの場、出会いの場、子育ての情報交換ができる憩いの場として利用料は無料で行っています。0歳から就学前までの親子が対象です。



「ゼロカーボン」への取り組み

令和8年4月に新築された「認定こども園」と「こども発達相談センター」はNearlyZEB(ニアリー・ゼブ)を取得しています。基準値のエネルギー消費量から75%以上削減しています。



こども家庭センター ～よすがYosuga～

子育て世代包括支援センター「マミールーム Yosuga-よすが-」では、妊娠・出産、子育てに関する悩み等に対して、相談支援を行っています。授乳スペースや、おむつ替え台、こどもトイレ、計測スペースを設置しています。休憩や授乳、育児相談など気軽にご利用ください。



キッズルーム

乳幼児から18歳まで相談や、教室等の事業を行っています。



子育て

すこやかに、
そしてのびやかに

子どもたちは士幌町の未来を築く町民みんなの宝物です。町民の誰もが安心して子どもを生育できることのできる社会を築くため、次代を担う子どもの健全育成を図ることを目的に子育て支援事業を展開しています。



教育

次代を担う
子どもたちが主役

土幌町では、特色ある教育によって児童生徒に「生きる力」を育てることを目指しています。将来の地域を創造する児童生徒一人ひとりが学ぶことに喜びを感じ、郷土を愛する心と、個性豊かな人間性を育むことを目的に、日々の教育活動を展開しています。



小学校

町内の小学校ではタブレット端末を使った授業を行っています。



土幌小学校

児童数191名
(令和8年5月1日)
普通学級10クラス
特別支援学級8クラス



中土幌小学校

児童数28名
(令和8年5月1日)
普通学級4クラス
特別支援学級4クラス



上居辺小学校

児童数19名
(令和8年5月1日)
普通学級3クラス
特別支援学級2クラス



土幌町中央中学校

生徒数140名(令和8年5月1日)
普通学級6クラス
特別支援学級6クラス



放課後子ども教室

放課後など全ての子どもたちを対象に安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する教室。学童保育所と連携して行っています。



学習サポート塾

小・中学生を対象に夏・冬・春休みに2～3日間、学習・読書・運動などを北海道大学の学生に指導してもらう無料の塾を開設しています。



北海道士幌高等学校

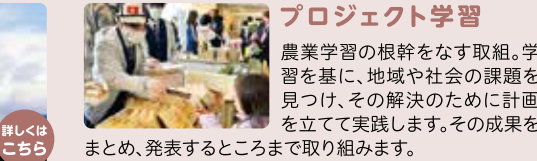
町立の農業高等学校として、アグリビジネス科とフードシステム科の2学科があり、広大な実習用地と設備の整った加工施設で様々な農業教育を実施しています。

国の交付金を活用し、ドローンを使った農地管理や「志プロジェクト」のブランドイメージ開発等を手掛けています。GAPや北海道HACCP、アニマルウェルフェア認証を取得し、持続可能性、安全・衛生管理、家畜福祉などの考え方を学習しています。
生徒数115名(令和8年5月1日現在)



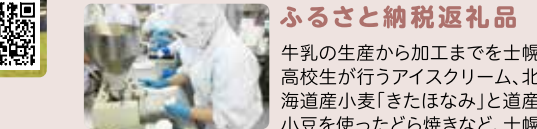
学童保育

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学生に対して、適切な遊びおよび生活の場として開設している施設です。小学校区ごとに運営するため、開設期間、時間、対象学年などが異なります。学童保育料は令和8年度から無料となっています。



プロジェクト学習

農業学習の根幹をなす取組。学習を基に、地域や社会の課題を見つけ、その解決のために計画を立てて実践します。その成果をまとめ、発表するところまで取り組みます。



ふるさと納税返礼品

牛乳の生産から加工までを土幌高校生が行うアイスクリーム、北海道産小麦「きたほなみ」と道産小豆を使ったどら焼きなど、土幌

高校生の日々の学習活動の成果を、ふるさと納税返礼品として全国にお届けしています。



志プロジェクト

生徒が持っている「夢」や「目標」をその人だけの「志」として、実現に向けて応援する「志プロジェクト」。土幌高校では、この活動を通して、地域に活力を与える人材育成に取り組んでいます。



サタデースクール

土曜日に町内の小学生が、様々な体験活動を年間30回程度行います。案内は学校を通じて行います。



土幌交通公園

旧国鉄土幌線「土幌駅」が当時のままの姿で保存されています。



遊水公園

噴水もあり、町のやすらぎの場として利用されています。



ゼロカーボン推進

令和4年6月にゼロカーボンシティ宣言を行っており、公共施設のほか、個人・事業者向けの補助金等により2050年カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みを推進しています。



災害対応

今後、起こり得る各種自然災害などに対応するため、防災関係機関のみならず町民の皆さんと一緒に、さまざまな防災訓練を行っている他、防災備蓄品を整備するなど、災害に備えています。



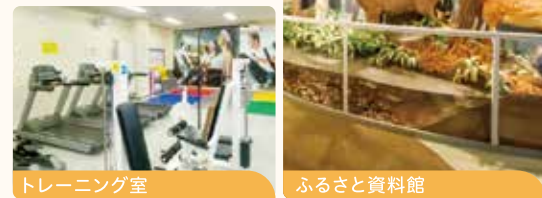
朝陽公園 ホタルの里

ホタルの養殖池があり、7月末から8月上旬にはヘイケボタルの姿が見られます。



しほろみらいトーク

少人数グループで町長と意見交換をする「しほろみらいトーク」を実施し、より多くの方と魅力あるまちづくりのために、話し合っています。



土幌町総合研修センター

学習施設と運動施設を組み合わせた総合施設です。学習施設では図書館、資料館、パソコン室、発表会など各種大会が開催されるホールがあり、運動施設としてアリーナや武道館が完備されています。また、ふるさと資料館では開拓時代の生活用品や農機具を展示しています。

生活

魅力あるまちづくり

土幌町では、広く平坦な「大地」と「緑」、そして心豊かな「土幌町民」と協働し、自然と共生した環境づくりを進めています。住んでいる人はもちろん、訪れる人たちにも、やすらぎとうるおいを与え「住んで良い町・訪ねて良い町」土幌町を目指しています。

農業

安心・安全な
食づくりがテーマ

土幌町は、町の総面積の約60%を農用地として高度利用している典型的な純農村地帯です。寒冷地型作物のじゃがいも、てん菜と小麦、豆類を計画的に輪作する畑作と飼養頭数7万頭を超える酪農、肉用牛生産を主体としています。



じゃがいも

土幌町の象徴である広大なじゃがいも畑。この美味しいじゃがいもを使用した加工製品も豊富です。



小麦

土幌町は小麦の生産も盛んです。9月上旬にまいた種は長い冬を越し、翌年6月上旬には穂を出し、7月下旬から8月上旬にかけて収穫が行われます。



しほろ牛

土幌町の肉用牛飼育頭数は全国有数の水準を誇ります。町内の肉用牛肥育施設から計画的に出荷されています。畜産堆肥は畑作農家に利用され地力増進に活用されています。こうして資源循環サイクルシステムの中で環境保全を図り地域の共生を目指しています。

土幌町農業振興対策本部

土幌町の農業の持続的発展を図るために、町内農業関係機関及び諸団体が緊密な連携をもって総合的な諸施策を企画実施します。



ふるさと納税

ふるさと納税制度は、生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度のことです。寄附をすることで、住民税の控除等を受けることができます。右記ふるさと納税ポータルサイトから申し込みできます。



コロッケ工場

地場の原料を中心に加工し、製品は大手ブランドOEMをはじめとする市販用からB to Bまで全国各地へお届けしています。



しほろ農業塾

これからの農業担い手は、持続可能な農業の実現に必要な、幅広い見識や鋭い経営感覚、豊かな人間性が求められるところであり、それらを育む場として「しほろ農業塾」を開講しています。



でん粉工場

土幌町では環境対応型のでん粉工場が稼働し、安心・安全なでん粉が製造されています。



バイオマスプラント

家畜ふん尿処理の省力化とともに、有機物の還元を進め「資源循環型農業」の構築が図られています。



しほろ牛



土幌高校アイスクリーム



ポテトチップス



フライドポテト



鳥スモーク



広大で豊かな畑から採れたじゃがいもを使用した〈生産者還元用ポテトチップス〉

農産物加工品

土幌町は北海道を代表するじゃがいもの産地です。ポテトチップスやコロッケをはじめ、豊かな大地から採れるたくさんの農産物と加工品が自慢です。



開拓時代を思わせる本物の剣先スコップを鉄板皿にした〈剣先ステーキ〉



土幌町商工会

経営・金融・税制・労働など経営全般にあたって、土幌町の事業者には様々なサポートを行っています。



土幌商店街



しほろ牛挽き肉がゴロっと入った〈しほろ牛コロッケ〉



シーベリーを使用し、土幌高校の生徒たちが開発した〈シーベリーソーダ〉



食用馬鈴薯集出荷貯蔵施設

圃場にて収穫後、受入された馬鈴薯は用途・出荷時期に応じて温湿度管理を行い、高品質な馬鈴薯を全国の消費地へ出荷しています。

ふるさと納税ポータルサイト



楽天ふるさと納税 さとふる ふるなび ふるさとチョイス

商工業

活力ある
商工業を目指して

土幌町は、商工会と連携し、町民と親しみのある、活気あふれる商店街を目指し発展してきました。また、農畜産物を単に原料として供給するだけでなく、加工・流通により付加価値を高め「しほろブランド」として農畜産物の提供を展開し、地産地消の推進、農業・商業・工業の総合的拡大を推進しています。

観光

すべてにおいて
ダイナミック

自然に満ちたダイナミックなロケーションが
士幌町の自慢です。眼下いっばいに広がる十勝
平野を一望できる標高600メートルの「士幌
高原」をはじめ、四季折々の大自然の中、家族
や仲間たちで楽しく面白く体験できる施設がた
くさんあります。



詳しくは
こちら



道の駅 ピア21しほろ

国道274号と国道241号が交差する、士幌市街の入り口にある道の駅です。訪れたすべての人が「しほろらしさ」を堪能できます。



詳しくは
こちら



士幌高原 ヌプカの里

大雪山系の東ヌプカウシヌブリの麓の士幌高原から見る大パノラマは圧巻の景色です。時間を忘れて大自然を満喫できます。コテージやキャンプ場、研修施設もあります。



しほろ夏まつり花火大会

十勝管内では一番早い花火大会で、花火と各種イベントで夏の夜を盛り上げます。



詳しくは
こちら



道の駅 しほろ温泉プラザ緑風

令和7年4月にリニューアルしました。下居辺の深い森に囲まれた自然の中、北海道遺産にも選定されたモール温泉が全浴槽源泉かけ流しで楽しめます。



収穫祭

本町特産品の販売をはじめ、しほろ牛ロースカットステーキ・おしろこ・うどんやじゃがいも・玉ねぎ袋詰め放題など士幌町の秋の味覚を家族で存分に堪能できます。



しほろ7000人のまつり

士幌町でもっとも大規模なお祭りです。姉妹都市・岐阜県美濃市の特産品である「美濃和紙」を使用した桜の枝約470本による花みこしのほか、熱気球体験や高原太鼓演奏などがあります。



1919(大正8)年

上居辺開墾



1925(大正14)年

1925年建築の士幌村役場



現在の街並み

士幌発祥の地記念公園



士幌市街地



1921(大正10)年

第一期上川村会議員と役場職員



1958(昭和33)年

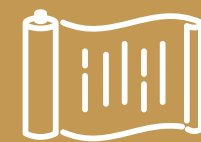
皇太子殿下でん粉工場見学



中士幌市街地



役場庁舎



歴史

歴史の
始まりは
農地開拓

2021(令和3)年に士幌町は開町100周年を迎えました。1898(明治31)年、中士幌下台に入植。続いて下居辺、百戸など各地へ、開拓の鉄が入られました。今の士幌町に隆盛と豊饒があるのは、先人たちの幾多の困難に立ち向かう血と汗と不屈の精神があったからといえるでしょう。